

「小池百合子女史の行動力をどう思われますか？」

平成 29 年 10 月 10 日

●京都の秀さんからの質問

小池百合子女史の行動力をどう思われますか。希望の党の問題点 1・2・3 は拝読。その上で、良し悪しは別にして、水面下で準備を進めていたとはいえ、機を見て、男どもを、はね除けてひらりと馬上飛び乗り手綱を引き絞り、傘下も、か弱い女ながら統率。坂本龍馬に及ばないが、女ながら颯爽としたもの、失う地位も金も眼中に無い。

●西田昌司の答え

東京都知事選挙の際は、自民党を手玉に取ってよくぞやったなど拍手喝采した人も多いでしょうし、私もそのように感じていました。あの時は自民党側に問題があったのも事実だと思います。しかし、東京都知事である小池さんが国政にまで関わろうとするのは悪乗りのし過ぎというものです。東京都の問題をえぐり出しに行ったのであれば、最後まで責任を持ってやり通してもらわなければ困ります。

小池さんは、上手に世論を操って人々の関心を引き付ける術に長けていますし、確かに選挙には強い人です。しかし、政治家はそれだけではないのは言うまでもありません。東京都議会や国会といった場での議論を通じて様々な問題を多角的に検討した上で、最後は公平な決断を下して前に進んでいくのが政治家の本来の仕事であるはずで、政治家が大衆相手のパフォーマンスに明け暮れてしまったら終わりです。

地域政党である『都民ファーストの会』と国政政党である『希望の党』では、訴える政策において相容れない関係となるのは避けられません。『都民

ファーストの会』は、私学の授業料補助や保育士の給与助成といった政策を謳っていますが、このような政策は隣接県から人を吸い取ってしまうこととなるのです。東京都の利益にはなるかもしれませんが、他府県には配慮のない排他的政策でありますし、東京一極集中を加速させるものです。「都民ファースト」ではあるかもしれませんが、国全体を考える国政政党の政策ではあり得ません。

小池さんに国全体を考えたバランス感覚があるかと言えば、おそらく全くないのでしょう。結局、瞬間瞬間の空気を読み取って自分を目立たせているだけで、政治家の道をしっかりと歩んでいる人物ではないということを、賢明な有権者には感じ取っていただきたく思います。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>